

# KiKiの広場

2014年 4月 1日

cafe NO.42  
KiKi



ヒストリアの側には真締川公園があります。おかげで1年中、外をのぞくと緑が目に入ってきて、特にイベントホールや2階の交流ホール・第4交流室の窓からの眺めは、切り取られた絵のように緑だけが見えて素敵だなと思います。今年は昨年より桜の開花が遅かったおかげで、4月に入った今、真締川公園の桜が満開となっています。一気に咲いて一気に散るはかなさと潔さのようなものが、日本人が愛してやまない桜の魅力なのかなと思います。桜吹雪を感じるのもいいですが、窓越しの桜もステキですよ。

## SAKURA

### 4月の予定

臨時休業	7日(月)
休館日	8日(火)
定休日	毎日曜日



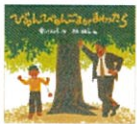
### 「今月のケーキ」・・・「シューバナナケーキ」350円

バナナとカスタードクリームをシュー皮でサンドし、アクセントにほんのり苦いチョコレートを効かせた、年代を問わず楽しめる味わいです。KiKi スタッフにもファンが多いケーキです。



### 今月のお気に入り・・・「やっときた春に読みたい絵本」

～「びゅんびゅんごまがまわったら」「さくら」「ぐいとぐらとくるくら」「そろまめくん・・・シリーズ」などなど～



文・宮川ひろさん、絵・林明子さんの「びゅんびゅんごまがまわったら」は、校長先生と子どもたちの遊び場復活をかけたびゅんびゅんごま対決と、タンポポの人形やカラスノエンドウの笛など、春ならではの遊びが満載。あまのじゃくで気難しそうな校長先生が、対決後に見せる笑顔がステキです。私も牛乳パックを貼り合わせた手作りコマで、なんとか4つまで同時に回せるようになりました。小学3年生の強者くんが手と足と口を使って、7個回しを成功させたのを見ましたが、さてどうやって回すかわかりますか？

この季節にぴったりの「さくら」ですが、ソメイヨシノが自分の言葉で1年間を語ります。画家の矢間芳子さんはこの作品の為に、3年間桜の観察とスケッチをされたそうです。長谷川摂子さんの優しい文と矢間さんの繊細な絵が、花が散った後の桜の1年を、物語のように教えてくれます。



### 今月の本棚・・・「出会いの季節 ～友だち～」

～「きみなんかだいきらいさ」「とんことり」「コッコさんのともだち」「ふたりはともだち」「れおくんのへんなかお」など～



「かいじゅうたちのいるところ」のモーリス・センダック作の「きみなんかだいきらいさ」は、折り紙サイズのもっとも可愛い絵本です。怒ったりケンカをしたりしても、一瞬で仲直りできる幼い頃のとみだちとの関係が、赤・緑・黒・白の4色のみのシンプルな優しい絵で、愛おしく描かれています。

筒井頼子さんと林明子さんコンビの「とんことり」は、引っ越ししてきたばかりのかなえが主役。知らない土地に来た心細さが、「とんことり」という音と共に、どきどきしながら期待に変わっていく様子、やっと出会えた後の嬉しそうな2人の表情、どの場面を見ても切ないくらい温かくて優しい気持ちになります。



### ほっとしレイク

3月には別れがありました。出会いもありました。受付の学生スタッフのHさんとMさんの2人です。前任者のMさんとYさんの後輩です。ヒストリアのスタッフは受付始め KiKi も、オープン当時からメンバーが殆ど変わっておらず、ニューフェイス、しかも若者なんて、初めてのことです。公共施設ということで、いろいろと勝手が違うこともあると思いますが、前の2人のように丁寧に心と身体と頭を遣って、自分にとっていい時間になるように過ごしてほしいなと思います。一緒に頑張りましょう！！

